

平成24年8月1日

お知らせ

資料提供先 鳥取県政記者会
鳥取市政記者クラブ

～「道路ふれあい月間」推進標語～
鳥取市立湖山小学校6年(応募当時)池上^{いけがみ}流彩^{るあ}さん
国土交通大臣表彰 優秀賞を受賞！

受賞標語：『この道で 今日も出会いが 生まれてる』

このたび、国土交通省で募集した「道路ふれあい月間」推進標語で、鳥取市立湖山小学校6年(応募当時)池上^{いけがみ}流彩^{るあ}さんの作品『この道で 今日も出会いが 生まれてる』が「小学校の部」で国土交通大臣表彰「優秀賞」を受賞されましたので、その表彰状伝達式を次のとおり行います。

○日時 平成24年8月8日(水) 11:00～11:30(別紙「式次第」参照)

○場所 国土交通省鳥取河川国道事務所 1階会議室

(鳥取県鳥取市田園町4-400)

この推進標語は、「道路ふれあい月間」(8月)の行事の一環として、改めて道路の意義・重要性について考えていただくことを目的に、国土交通省で広く一般から募集(募集期間：平成24年1月16日から3月30日まで)したもので、全国の小学生・中学生・一般から7,798作品の応募がありました。

なお、今回の推進標語の国土交通大臣表彰は、「小学生の部」・「中学生の部」・「一般の部」の各部門毎に、『最優秀賞』1作品、『優秀賞』2作品が選定されています。

※入選作品決定の詳細につきましては 国土交通省が平成24年6月7日に記者発表しています。本省HP(<http://www.mlit.go.jp/index.html>)『報道発表資料』(別添)をご覧ください。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

TEL 0857-22-8435(代表)

副所長(道路) ^{いのうえ かずひさ}井上 和久

【担当】 道路管理第一課長 ^{こいけ たけみ}小池 健三

鳥取河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/>

(別紙)

平成24年度「道路ふれあい月間」推進標語表彰状伝達式

日 時 平成24年8月8日(水) 11時00分～11時30分

会 場 国土交通省鳥取河川国道事務所 1階会議室

式 次 第

- 一 開式のことば
- 一 表彰状伝達
- 一 事務所長祝辞
- 一 閉式のことば
- 一 記念撮影

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



「一本の 道に日本の 底力」～平成24年度「道路ふれあい月間」推進標語 入選作品決定のお知らせ～

平成24年6月7日

国土交通省では、「道路ふれあい月間」(8月)の行事の一環として、改めて道路の意義・重要性について考えていただくことを目的に、広く一般から本月間の推進標語を募集したところ、全国から7,798作品の応募がありました。

この標語について、三好礼子(エッセイスト、国際ライター)やすみりえ(川柳作家、文化庁審議会分科会委員)吉岡耀子(交通・環境ジャーナリスト)の3名による審査を行い、[小学生の部][中学生の部][一般の部]の各部門毎に、最優秀賞1作品と優秀賞2作品を選定しました。

その結果、最優秀賞3作品、優秀賞6作品の計9作品が決定しましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

※敬称略

添付資料

別紙1:入選作品、選評(PDF ファイル)



別紙2:応募集計結果(PDF ファイル)



お問い合わせ先

国土交通省 道路局 道路交通管理課 総務係 水上、小原
TEL:(03)5253-8111 (内線37424) 直通 (03)5253-8482

平成24年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品

◆最優秀賞(3作品)◆

【小学生の部】「つなげよう 僕の道から きみの道」

中村 安里 さん 9歳(千葉県 千葉市立本町小学校)

選評：「つなぐ」というキーワードはこの一年の日本のキーワードでもあった。「僕」と「きみ」という言葉が単に個人でなく、世界中の僕ときみにつながるような広がりのある標語である。

【中学生の部】「いつの日も 歩きたくなる 道がある」

鈴木 裕也 さん 14歳(神奈川県 山北町立三保中学校)

選評：「道を友だちにしている」感じがよく出ている。きっと大人になってもその道を思い出したりするのだろう。優しい感性が感じられる。

【一般の部】「一本の 道に日本の 底力」

今田 紗江 さん 44歳(徳島県 徳島市)

選評：東日本大震災から一年を経過した今年ならではの句。力強い直球のメッセージを発している。道の上に青空が見えてくる。希望が見えてくる。この標語から日本中に希望と自信が発せられることを期待する。

◎最優秀賞3作品のうち、「一本の 道に日本の 底力」を今年度の代表標語とします。

◆優秀賞(6作品)◆

【小学生の部】「ありがとう 未来へ続け この道路」

大矢 裕介 さん 12歳(新潟県 長岡市立前川小学校)

「この道で 今日も出会いが 生まれてる」

池上 流彩 さん 12歳(鳥取県 鳥取市立湖山小学校)

【中学生の部】「決めたから この道行くよ どこまでも」

山本 桃子 さん 14歳(富山県 富山市立堀川中学校)

「人と人 つなぐところに 道がある」

川野 友裕 さん 13歳(宮崎県 日向市立平岩小中学校)

【一般の部】「明日もまた 道の向こうに 待つ笑顔」

内河 裕信 さん 52歳(神奈川県 相模原市)

「うまいく そんな風吹く 今日の道」

前田 千文 さん 42歳(石川県 加賀市)

※発表内容は応募時点

各審査委員による選評



三好礼子 委員

(小学生の部について)

笑顔いっぱい、元気いっぱい、未来いっぱいのはちきれんばかりの標語があり、とても元気をもらいました。きちんと五七五になったものも多く、レベルの高い作品が多かったです。

(総合選評)

例年より、自分の感情を正直に表したものが多く、表現したいこともいっぱいある気がしました。やはり道と人々の心というテーマをいつもより感じられたからでしょう。希望につながる標語も多く、詠んでいてこちらが元気をもらったり、大笑いしたりしました。ありがとうございました。

(小学生の部について)

明るい雰囲気作品がほほえましく良かったです。小学生の目線でしっかりと標語が完成されている点が印象に残りました。

(中学生の部について)

前向きでみずみずしい感性が含まれた素敵な入選作品が並んだと感じます。誰もが共有できる想いがありますね。

(一般の部について)

入選作品はどれもリズム感の心地好い作品で覚えやすいので、多くの方に好まれる標語であると思います。

(総合選評)

最優秀賞はとてもメッセージ性の強い作品で、どの世代の人の心にも響くのではないのでしょうか。各部門とも、時代にマッチした標語が揃ったと思います。



やすみりえ 委員

(小学生の部について)

3作品にはともにやさしさと子どもの柔らかな心が満ちています。ありがとう、出会い、つなげようという言葉が、新しい生活を支えるメッセージとなっているようです。

(中学生の部について)

中学生らしく、力こもったキラキラした心情が感じられます。「いつの日も歩きたくなる」という先へ進む感じが頼もしい。「決めたから」にも同様に、大人の入り口が近づいてきた時期の決意のような気構えが感じられます。

(総合選評)

明るさと未来を感じさせる作品が多かった。東日本大震災の中から、人々が立ち上がってきた時、生活に密着した道路に目が向けられてきた、そんな感じの明るさ・強さ・優しさに満ちています。

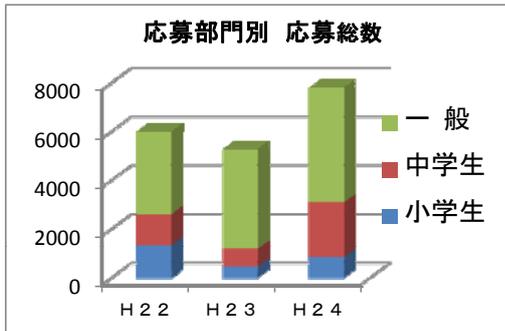


吉岡耀子 委員

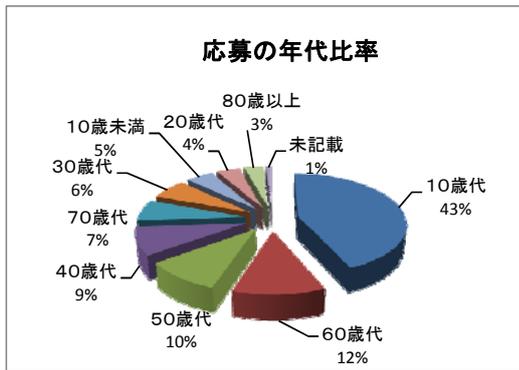
平成24年度「道路ふれあい月間」推進標語 応募の集計結果



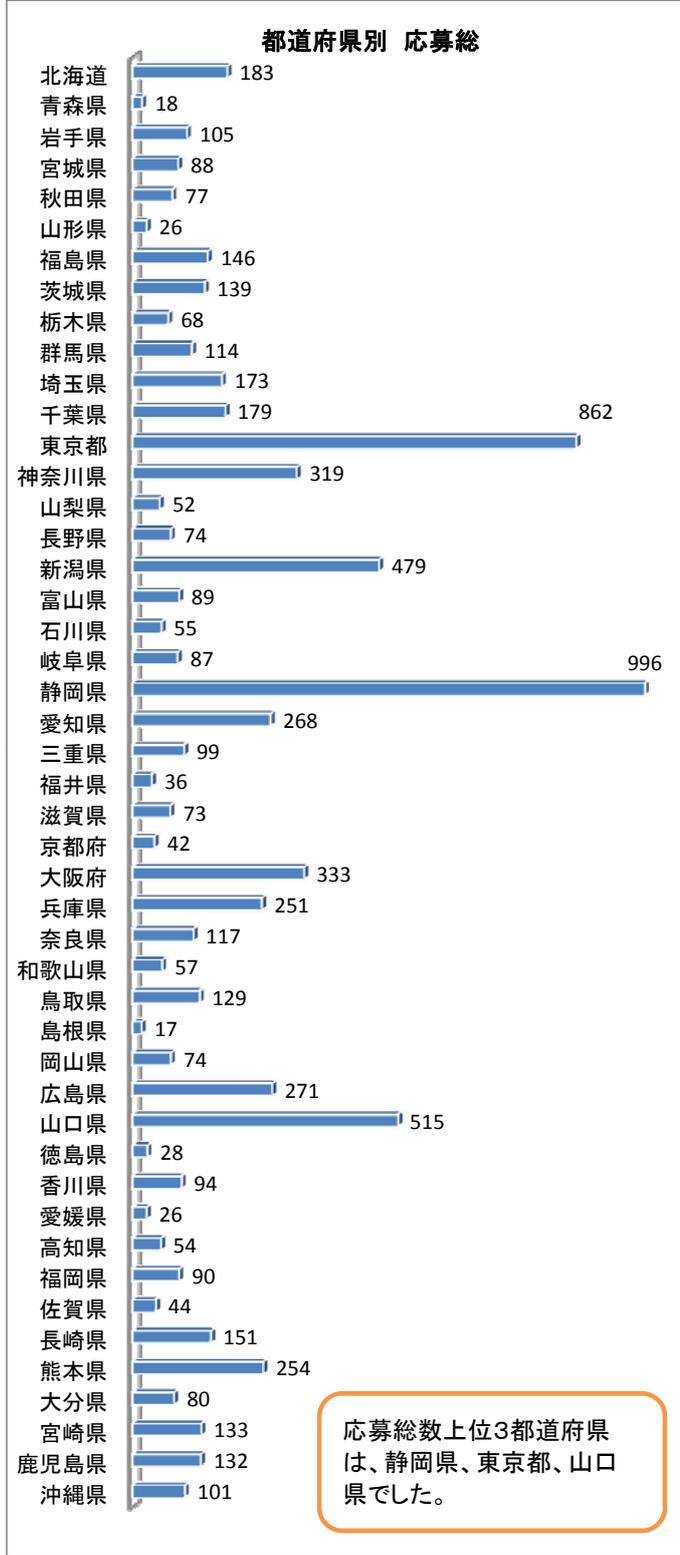
平成24年度は7,798作品ものご応募を頂きました。



平成24年度は、学校単位での中学生の応募が増加しました。



7歳から96歳まで幅広い世代の方からご応募を頂きました。



応募総数上位3都道府県は、静岡県、東京都、山口県でした。